

【実践④】 コミュニケーション英語II 領域：話すこと [発表]

1 日時・実施場所

令和〇年〇〇月〇日 (〇) 第〇限 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇) 〇〇教室

2 学 級

〇〇科 第2学年〇組 (〇〇名)

3 学 級 観

英語の学習に前向きに取り組む生徒が多い。新しい形式の言語活動に臆することなく取り組むことができるが、語彙や表現はまだ不足しているため、フィードバックを丁寧に行って正確さを身に付けさせたい。また、英語を得意とする生徒とそうでない生徒の差が大きいため、ペアやグループでの活動を通して、学級全体の英語力の底上げを図りたい。

4 教 材

(1) 教科書 〇〇〇〇 English Communication II (〇〇出版)

単元名 Lesson〇 〇〇〇〇

(2) 補助教材 〇〇〇〇

5 単元の目標

「発表する」という目標をもって本文を読むことができます。

「バイオミミクリー」という概念を理解し、本文に載っている具体例を自分の言葉で表現することができる。また、その内容を生かし、他の例について調べ、自分の言葉で話して伝えることができる。

6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

聞くこと	日常的な会話や議論を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握することができる。
読むこと	人文・社会・自然科学の分野などに関する文章を読み、文章の展開や要点などを読み取り、読み取った内容を自分の言葉で表現することができる。
話すこと [発表]	社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の意見を踏まえて話して伝えることができる。
書くこと	日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や自分の気持ちなどを100語程度で書いて伝えることができる。

7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 文章を聞き取るために必要となる語彙や仮定法の用法を理解している。 [技能] 自然との共生に関する文章を聞き取る技能を身に付けている。	バイオミミクリーについて発表するために、自然との共生に関する文章を聞いて、概要や要点を捉えている。	バイオミミクリーについて発表するために、自然との共生に関する文章を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。
読むこと	[知識] 文章を読み取るために必要となる語彙や仮定法を理解している。 [技能] 自然との共生に関する文章を読み取る技能を身に付けている。	バイオミミクリーについて発表するために、自然との共生に関する文章を読んで、概要や要点を捉えている。	バイオミミクリーについて発表するために、自然との共生に関する文章を読んで、概要や要点を捉えようとしている。
話すこと [発表]	[知識] バイオミミクリーの情報を述べるために必要となる語彙や表現を理解している。	聞き手にバイオミミクリーの例をよく理解してもらえるように、自然との共生について	聞き手にバイオミミクリーの例をよく理解してもらえるように、自然との共生について聞いて

	[技能] バイオミミクリーの情報を論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。	聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が調べたバイオミミクリーの例を口頭で発表して伝えている。	たり読んだりしたことを活用しながら、自分が調べたバイオミミクリーの例を口頭で発表して伝えようとしている。
書くこと	[知識] バイオミミクリーの情報を書くために必要となる語彙や表現を理解している。 [技能] バイオミミクリーの情報を論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	読み手にバイオミミクリーの例をよく理解してもらえるように、自然との共生について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が調べたバイオミミクリーの例を書いて伝えている。	読み手にバイオミミクリーの例をよく理解してもらえるように、自然との共生について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が調べたバイオミミクリーの例を書いて伝えようとしている。

8 パフォーマンステスト

○領域

話すこと [発表]

○内容

自分が調べたバイオミミクリーの例について、簡潔な英語で話して伝える。

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：動植物の特徴を述べている。

条件2：その特徴が使われている製品について述べている。

条件3：その特徴のおかげで、解決したことやできるようになったことを述べている。

○採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 初めて聞く相手にも伝わるような語彙や表現を使用し、聞き手が内容を理解しやすい。 適切な声の大きさ・スピードで話しており、アイコンタクトもできている。 	三つの条件を満たした上で、自分のアイデアを加えて伝えている。	三つの条件を満たした上で、自分のアイデアを加えて伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 伝わりにくい語彙や表現を使用することもあるが、聞き手が内容を理解することを妨げない。 適切な声の大きさ・スピード・アイコンタクトのいずれか二つはできている。 	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

簡潔な英語で伝えるようにすることで、
①聞き手にへの配慮、②調べた内容を理解して自分の言葉で表現することが求められます。

9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと, 読…読むこと, や…話すこと [やり取り], 発…話すこと [発表], 書…書くこと)

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	内容のまとめ					生徒の活動状況を見届ける観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1 3	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■Section 1 と Section 2 を読み, ジャニン・ベニユスが提唱するバイオミクリーという考えを理解し, 自分の言葉で伝え合うことができる。</p> <p>①本文を聞いたり読んだりし, ワークシートの質問に答える。</p> <p>②本文に関する質問を作成し, ペアでQ&Aを行う。</p> <p>③イラストにキーワードを書き込み, リテリングを行う。</p>	○	○				<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の言葉で話そうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
4	<p>■モデルプレゼンテーションを聞き, Section 3 のバイオミクリーの例を用いてプレゼンする際の方法やポイント, 資料 (ロイロノート) の準備について理解する。</p> <p>①教員が Section 3 のバイオミクリーの例の一つをプレゼンテーションするのを聞き, 内容を理解する。</p> <p>②①で聞いたプレゼンテーションで使われた構成や表現, 発表態度, 資料の作成について確認し, 準備する。</p>	○					<p>【思】話し手の意図を適切に捉えているか。</p> <p>【態】構成や表現, 発表態度, 資料について理解し, 自分のプレゼンに生かそうとしているか。</p> <p>○活動の観察</p>
5	<p>■Section 3 のバイオミクリーの例を簡潔な英語で発表して伝える。</p> <p>①バイオミクリーの例をペアで発表し合い, 自分が発表をしていない例についても理解する (ミニプレゼン)。</p> <p>また, 相手の発表の改善点を伝え合う。</p> <p>②相手を変えて, ①と同じ活動を行う。</p>	○			○		<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】モデルプレゼンを参考にして構成, 発表態度を工夫しているか。</p> <p>【態】活動の回数を重ねる度に, 自分の発表を改善しようとしているか。</p> <p>○活動の観察</p> <p>○ワークシート</p> <p>○振り返りシート</p>
6	<p>■パフォーマンステストの内容を理解し, スクリプトは手書きで, 発表資料はロイロノートで作成する。</p> <p>①スクリプトと発表資料を作成する。</p> <p>②前回の発表の改善点を踏まえ, 発表練習をする。</p>						<p>【態】発表に向けて, 前回の改善点を踏まえて準備しようとしているか。</p> <p>○活動の観察</p>

モデルプレゼンテーションを聞くことで, 生徒は発表に対する具体的なイメージを持つとともに, 表現や語彙を身に付けることができます。

このような相互評価を行うことで, 発表内容や語彙・表現について効果的に学ぶことができます。

スクリプトを用いて「書くこと」の評価をすることもできます。

7 8 (本時7時間目)	<p>■パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が調べたバイオミクリーの例について、簡潔な英語で話して伝える。 				知 思 態	※採点の基準等は「8 パフォーマンステスト」を参照。
9	<p>■Section 4 を読み、バイオミクリーが果たしていく役割を理解し、自分の言葉で伝え合うことができる。</p> <p>①本文を聞いたり読んだりし、ワークシートの質問に答える。</p> <p>②本文に関する質問を作成し、ペアでQ&Aを行う。</p> <p>③イラストにキーワードを書き込み、リテリングを行う。</p>	○	○			<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の言葉で話そうとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
後日	定期考査		知 思	知 思		知 思

10 本時の目標

自分が調べたバイオミクリーの例について、準備した資料を使いながら、簡潔な英語で話して伝えることができる。Section 3 のミニプレゼンでの反省点を生かしたプレゼンを行うことができる。

11 本時の展開 (7/9時間)

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
10分	発表の練習	<ul style="list-style-type: none"> 各自が用意したスクリプトと発表資料を使い、声に出して発表練習をする。 個人で練習した後、ペアになって発表練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の立場に立って、声の大きさやスピードを意識するように伝える。 ペアの生徒に改善点を伝えるように促す。
5分	発表順の提示 発表の流れの説明	<ul style="list-style-type: none"> 発表する側と聞く側の活動を理解する。 評価シートの書き方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表する側と聞く側のルールを提示し、評価シートの書き方を説明する。
25分	パフォーマンステスト (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> 発表者は、教員に原稿を渡し、教室の前方に立ち、プレゼンを行う。 聞き手は、発表者の資料を見ながら聞くことに集中し、発表後に評価シートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表者のプレゼンの評価を行う。 聞き手の態度を観察する。 <p>発表者だけではなく、聞き手も重要な役割を担っていることを理解させます。</p>
10分	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 評価シートを提出する。 教員のフィードバックを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表のよかった点・改善点をフィードバックする。

12 御高評

Class () No.() Name _____

モデルスクリプト

< **Speech Script** > **Example A**

Hello. My name is Miho.

Introduction

I'll introduce one example of biomimicry.

The kingfisher inspired Japanese engineers.

「動植物+inspired+人」

The bird jumps into water with no splash.

4文目はその動植物の特徴を書きましょう。 <条件1>

Japanese engineers looked to the kingfisher's beak.

Then, they designed the nose of Shinkansen trains like the kingfisher's beak.

6文目はその特徴が使われている製品や場所を書きましょう。 <条件2>

Thanks to this design, Shinkansen trains don't make a loud sound when they go into tunnels.

Thanks to ~ 「~のおかげで」の後に、解決したこと（できるようになったこと）を書きましょう。 <条件3>

In my opinion, +自分のアイデア

This is the end of my presentation.

Closure

Thank you for listening.

※ _____部分はそのまま使えます。